

やまぐち 市議会だより

3 6 9
12月
定例会

NO.54

安心安全誓う 未来へのトライ!

12月定例会ピックアップ	2
議案の審議結果	4
特別委員会中間報告、議会改革答申	5
委員会ア・ラカルト	6
市長に聞きたい!	8
視察報告	15



12月 定例会

2019年
12/2～12/23

上程された議案

予算

6件

条例

13件

事件議決

38件

委員会提出

1件

12月定例会

ピックアップ
pick up

台風による2回目のYCAM屋根 被害に対する補正予算審査

～再発防止に向けた取り組み～

平成15年11月に開館した山口情報芸術センターYCAMは、開館してわずか10カ月後の平成16年9月に屋根材が台風により飛散するという事故が発生していましたが、昨年9月の台風17号で再び屋根がめくれ上がり、内側の断熱材が周囲の道路に飛散するという被害が発生し、復旧及び補強工事のため5240万円の補正予算議案が提出され可決しました。

経済建設委員会等において、さまざまな角度から審査が行われましたが、今回は開館から約16年が経過していることなどから設計者や施工業者に瑕疵担保責任等を求める事案ではないとの市の見解が示されました。

今後は、市民の不安払拭と信頼回復、再発防止に向け最大限の努力をされるよう求めました。



被害を受けた屋根の一部がブルーシートで覆われている（写真右側）

12月定例会

ピックアップ
pick up

（仮称）湯田PAスマートインターチェンジ建設工事 事業委託に関する協定の一部の変更 変更内容や時期は適切であったか

当該工事は、平成29年9月に本市と西日本高速道路株式会社との間で建設工事委託に関する協定を締結し、中国縦貫自動車道湯田パーキングエリアに（仮称）湯田PAスマートインターチェンジの整備を進めているものです。

議案は、契約金額を変更するためのもので、約1億8700万円の増額により、約4億8152万円となるものです。

変更内容は、地域からの要望に基づく側道整備や目隠し板の設置、ICT建設機械による施工に係る経費などがあり、工法や市に対して契約金額の増額が提示された時期の妥当性、議会（市民）への説明等について、本会議および経済建設委員会において慎重な審査を行いました。

また、最終日の採決前に行われた各会派からの討論ではさまざまな意見、指摘をしました。

意見・指摘

- 地元との協議に基づく工事や、工期短縮を実現したものであり、早期の完成を目指して引き続き取り組んでいただきたい。
- 本市の発展と市民生活向上という視点から賛成する。
- 当初、金額の積算根拠の詳細が示されていなかった。
- 完成間近になっての大幅な経費の増額が、協定の締結に基づく契約のリスクとして含まれていることを理解し、今後は協定締結段階から増額に対するリスク管理を行っていただきたい。
- 追加工事ではなく当初から本体工事にすべきであり、財政面においても国からの交付金算定に影響を与え、市の負担がふえたことの責任は重い。



新山口駅北地区「産業交流拠点施設」 指定管理者が決まり、開館準備本格化！

建設が進む拠点施設の運営を担う指定管理者を「森ビル都市企画・コンベンションリンクページ共同企業体」に指定する議案を可決しました。

今後は、指定管理者が持つ「まちづくりコンサルティンク」や「会議・舞台芸術イベント等の企画運営」での豊富な実績・経験のノウハウを活かし、市、コンベンション協会、地元企業や地元から採用される職員等と連携して、山口県ナンバーワンのビジネス街の形成に向けた取り組みが進められます。



工事が進む産業交流拠点施設

会計年度任用職員制度への移行

令和2年4月1日に地方公務員法と地方自治体法の改正で「会計年度任用職員制度」が施行され、非常勤職員や臨時職員などの「非正規職員」のほとんどが、新設された「会計年度任用職員」に移行することになります。

会計年度任用職員は、就業時間が週38時間45分以上のフルタイム職員と、週38時間45分未満のパートタイム職員に区分されます。いずれの職員も、従来の非正規職員にはなかった期末手当の支給や人事評価の導入、再任用の際の報酬の職級加算（＝昇給。山口市の場合、経験に関わらず3回まで）などが追加されます。

問 来年度予算への影響は。

答 フルタイム職員だけを見ても、1人あたりの年収が現行と比較して36万円、2年目で42万円、3年目で48万円とふえるため、そのままの人数が移行した場合には、来年度7千万円程度ふえると見込んでいる。

「トライ 未来創造」 令和2年度予算編成方針

来るべき本格的な人口減少時代を迎える山口市。その中で令和2年度の予算検討の基本となる山口市予算編成方針が示されました。8つのプロジェクトを軸として、持続可能なまちづくりを進めるうえで未来社会「society5.0」をIoT・AI・5Gなどの革新的技術を活用し、スマート自治体・スマートシティの取り組みも加え公共サービスの最適化に努めるとあります。

これらの方針に対し議員からは「都市づくり」「地域づくり」の視点から、来年度以降の山口市のビジョンや現状の市の課題解決に向けた各種の質問をしました。執行部からは、積極的な事業展開により、多様化する行政ニーズに対応したいとの答弁があり、さらに、事業の徹底した見直しと創意工夫によって、最小の経費で最大の効果を上げる予算となるよう取り組むという方向性が示されました。

これまでの情報社会「society4.0（ソサエティ4.0）」では、人がパソコンを使い、インターネットを経由して、あふれる情報から必要な情報を見つけて分析していましたが、人の能力の限界があるとともに作業負担が大ききものでした。

我が国が目指すべき未来社会の姿「society5.0（ソサエティ5.0）」では、現実社会のあらゆるモノがインターネットに接続して、生活や仕事などのあらゆるデータをセンサーなどで収集したり、モノを遠隔で操作したり監視する「IoT（アイオーティー、モノのインターネット）」で繋がり、さまざまな知識や情報が共有されます。

また、収集された膨大なデータを人間の能力を超えた「AI（エーアイ、人工知能）」が解析して、その結果がロボットなどを通して還元されたり、AIから提案された情報を人が活用することで、これまでになかった新しい価値や産業が社会にもたらされることになります。

さらにその情報をやりとりする速さ・正確さを各段に向上させた次世代の通信システム「5G（ファイブジー）」の実用化により、農業・医療・建設工事現場・交通・行政などあらゆる場面において、人の生活形態や働き方が大きく変化していくといわれています。

最近ではニュースなどでもよく耳にする言葉ではありますが、市の政策や予算編成方針でも英語やカタカナの新しい単語が使われるようになりました。



■ 全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和元年度山口市一般会計補正予算（第4号）
- 令和元年度山口市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和元年度山口市一般会計補正予算（第5号）
- 令和元年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度山口市介護保険特別会計補正予算（第3号）

条 例

- 山口市簡易水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例
- 水道法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市奨学金貸与条例の一部を改正する条例
- 山口市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- 山口市営住宅条例の一部を改正する条例
- 山口市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 字の区域の変更について
- 字の区域の変更について
- 字の区域の変更について
- 字の区域の変更について
- 市道路線の認定について
- クリエイティブ・スペース赤れんがの指定管理者の指定について
- 山口市菜香亭の指定管理者の指定について
- 山口市小郡屋内プールの指定管理者の指定について
- わかくさ第2学級の指定管理者の指定について
- やまびこ第3学級の指定管理者の指定について
- みなみ第2学級の指定管理者の指定について
- ひめやま第2学級の指定管理者の指定について

- もみじ第3学級の指定管理者の指定について
- おおぞら学級の指定管理者の指定について
- ひまわり学級の指定管理者の指定について
- ひまわり第2学級の指定管理者の指定について
- ひまわり第3学級の指定管理者の指定について
- はちのこ学級の指定管理者の指定について
- しらさぎ学級の指定管理者の指定について
- しらさぎ第2学級の指定管理者の指定について
- 山口市小郡上郷児童館の指定管理者の指定について
- 山口市柚野地域活性化センターの指定管理者の指定について
- 山口市上村高齢者女性等活動促進センターの指定管理者の指定について
- 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センターの指定管理者の指定について
- 国民宿舎秋穂荘の指定管理者の指定について
- 重源の郷体験交流公園の指定管理者の指定について
- 大原湖キャンプ場の指定管理者の指定について
- 願成就温泉センターの指定管理者の指定について
- 十種ヶ峰ウッドパークの指定管理者の指定について
- 赤妻2号雨水貯留施設設置工事の請負契約の締結について
7ページに一部特集
- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等（北部地域）の取得について
- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等（中央地域）の取得について
- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等（川東地域）の取得について
- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等（川西地域）の取得について
- 黄金町地区第一種市街地再開発事業における保留床の取得について
6ページに一部特集
- 教育委員会の委員の任命について
角川早苗氏（新任）

委 員 会 提 出

- 地方自治法第180条第1項の規定による市長専決処分事項の一部を改正する告示

議案の審議結果

慎重な
審議の結果、
今定例会では
58議案を
可決しました。



■ 賛否が分かれた議案と審議結果（○は賛成、×は反対、△は賛否が分かれたもの）

議 案		審 議 結 果	自由民主党山口	県都創生山口	公 明 党	高 志 会	日本共産党	市民クラブ	チームらい共創	山口維新の会	継続力の会
条 例	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可 決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	山口市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 3ページに一部特集	可 決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	山口市議会の議員の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	山口市特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
事 件 議 決	山口市産業交流拠点施設の指定管理者の指定について 3ページに一部特集	可 決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	〔(仮称)湯田PASスマートインターチェンジ〕建設工事委託に関する協定の一部を変更することについて 2ページに一部特集	可 決	○	○	○	○	×	○	○	○	○

特別 委員会 報告

新本庁舎の建設等に関する 調査特別委員会 第3回 中間報告(要旨)

気になる動き

11月29日開催の第8回特別委員会において、以下の説明、報告を受けました。

- 山口市新本庁舎等設計業務を受託する業者の、公開プレゼンテーションにおける提案内容の概要や評価。
- 今後のスケジュールや設計段階において特に調整を要する事項について検討するワーキンググループ(山口市本庁舎整備に関する庁内検討委員会内に設置)の概要と協議項目、業務の進捗状況。
- 令和7年度から山口市、萩市、防府市の枠組みにより、本市の新本庁舎において消防通信指令業務の共同運用を進めることについて確認された。

特別委員会の委員からは、行政視察の実施により得られた知見等に基づき、以下の意見や指摘をしました。

- ワーキンググループのメンバー構成について、職員数における男女比率を意識したものにするべきではないか。
- 新本庁舎の想定面積について、国の起債許可標準面積算定基準を参考とされた自治体において実際の運用時に不足が生じており、人口減少社会に向かう将来を見据えた検討が必要である中においても、臨時・嘱託職員を含めて実際に勤務している職員数に見合った面積の想定が重要ではないか。

今後、配置計画素案の提案時期も念頭に引き続き議論を行い、議会機能をはじめとした所掌事務についての調査、検討を深めていきます。

令和元年10月、市は公募型プロポーザルによる選考を実施し、基本設計・実施設計業務の受託候補者を特定しました。

名称・株式会社石本建築事務所九州オフィス

市ウェブサイトにて、選定理由、提案資料等が公開されています。



議会からのお知らせ

山口市議会改革検討協議会 答申書提出 第一弾

各会派から提案された議会活動の充実強化のための改革に関する事項から、議長が必要と認めた28事項のうち、3項目の答申内容が12月23日、議長に提出されました。本協議会は月2回程度開催され、すべての事項を協議し、整った事項から順次答申を行っていきます。この度の答申は、以下の3事項でした。

諮問事項 16 議会会議規則の改正(欠席理由に「育児、看護、介護、疾病その他」の追加)

諮問事項 27 議会図書室(新庁舎整備に向けた図書室のあり方)

諮問事項 28 図書室の充実(資料の充実)

答申書の全文は市議会ホームページに掲載しています。



重見会長から坂井議長へ答申書を手渡し

委員会 ア・ラカルト



黄金町地区市街地再開発事業の保留床取得 による白石分団消防車庫整備の経緯と目的は

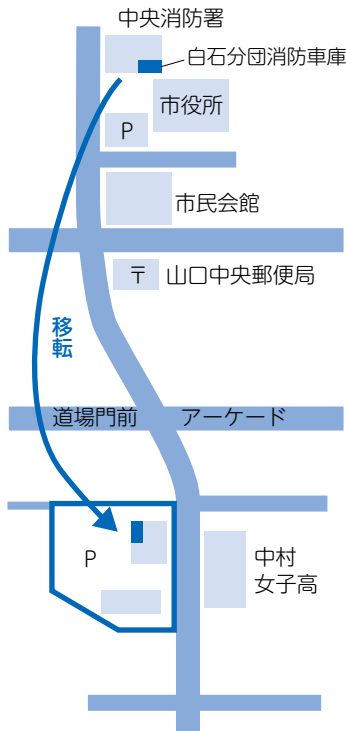
総務
委員会

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「経済建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



概略位置図



現在、中央消防署内にある白石分団消防車庫は、詰所部分や資機材を保管するスペースなどが狭いため、その解消に向けて平成26年度から車庫移転の検討をはじめ、平成30年度に方針を決定した。移転先となる黄金町地区市街地再開発事業地は、白石分団の管轄エリア各地への出場に適していると考えている。

また、再開発事業は、住宅が密集している黄金町地区において災害に強いまちづくりを推進する目的もあることから、白石分団消防車庫を地域の防災機能を高める施設の一つとして整備していく。

(担当部局：消防本部)



介護人材確保に向けての 積極的な取り組みは

教育民生
委員会

平成30年9月に創設した山口市介護福祉士就職促進補助金の交付要綱を、事業所へ行ったヒアリングを踏まえ、対象要件を拡大するよう改正する。

また、他の介護人材確保策や移住定住支援など、本市や県などの各種支援制度もあわせて周知することで、介護職に必要な知識や技能を有する方の市内事業所への就業をこれまで以上に促進していきたい。

(担当部局：健康福祉部)

※山口市介護福祉士就職促進補助金

市内の介護サービス事業所に初めて勤務する介護福祉士等に、引越越し費用などの一部を助成するもの。補助対象者の要件を次のように拡大する。

【改正前】 29歳以下の介護福祉士

←

【改正後】 60歳以下の介護福祉士、介護福祉士実務者研修等の修了者、またはそれらの取得・修了見込みがある方

委員の意見

平成30年度の補助金交付実績がゼロであったため、今後のさらなる取り組みを求める。



放課後児童クラブの 指定管理のあり方は

今期定例会では各放課後児童クラブの指定管理者の指定に関する議案を審査するなかで、新規の指定管理者の指定管理期間を5年間と設定したことの妥当性や、公募・非公募も含めた指定管理のあり方について議論しました。

また、5年間の指定管理料の限度額を債務負担行為として設定する補正予算議案の審査のなかで、今後状況の変化があった場合には必要に応じて柔軟な予算対応をしていくとの市の考えを確認しました。



教育民生
委員会



地域おこし協力隊の活躍状況は

生活環境
委員会

南部地域の陶、名田島、秋穂二島、佐山、秋穂、阿知須の各地域では、これまで7名の地域おこし協力隊を受け入れている。

今後は、ウェブサイトやSNS、動画配信等により南部地域の情報を発信する隊員も募集し、地域とも連携しながら、南部地域の活性化に取り組んでいきたい。

徳地地域では、そば打ち技術の継承など地場産品を使った商品開発・販路拡大をテーマに活動をされていた隊員が、任期満了後に民家を購入・改装して自宅兼用の飲食店を開業された。手打ちそばとともに徳地地域の特産品「やまのいも」や地酒を提供されるなど地産地消により地域経済の活性化にも寄与され、地域への定住の成果があらわれている。

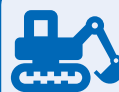
(担当部局：地域生活部、各総合支所)



開発に携わった特産品など

地域おこし協力隊とは

総務省が支援する制度で、都市地域在住者に、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし活動に取り組んでいただきながら、協力隊の定住・定着を図るもの。



総合浸水対策事業 雨水貯留施設設置工事の進捗は

生活環境
委員会

山口市総合浸水対策計画は、平成27年の策定から5年目を迎えており、大きな施設については見通しが立ってきた。

今年度から整備を進めている赤妻2号雨水貯留施設についても、施設全体の完成期限を令和4年3月末としているが、雨水を貯める部分については、梅雨前である令和3年4月までの供用開始を目指したい。

各施設の完成後は、地域の防災イベントや地域住民を対象とした現地見学会等を通じて周知していく中で、市民の防災意識の向上を図っていきたい。(担当部局：上下水道部)



新たな産業団地、鋳銭司第二団地の整備、売却の展望は

経済建設
委員会

収支計画については独立採算となっており、道路等の整備費を除く事業費を土地の売払い収入によって賄うこととなるが、詳細な売却単価等については実施設計の後に示すこととなる。売却にあたっては、これまでの誘致実績を強みに企業へのセールス活動を行うとともに、立地奨励金や雇用人数に応じた補助金制度等を充実させていく。

また、立地を検討される企業側が求める情報通信網については、光回線の整備について協議・調整を進めている。

(担当部局：経済産業部)

委員の意見

山であったところに大規模な造成工事を行うことで、雨水の流れも変わると予測される。周辺の住宅や施設へ悪影響のないように万全の対策を求める。

市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市



★議員が何を質問したか、読んでみましょう!

★質問と答弁の映像は、各議員の二次元バーコード  からも見られます。

※必要な場合には、バーコードリーダーをインストールしてご覧ください。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。

★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて60分です。

行政 新本庁舎整備における通信指令業務について



消防本部

問 11月に開催された山口県央連携都市圏域推進協議会において、山口市と防府市、萩市の3市の枠組みにより、令和7年度を目標に、本市の新本庁舎において通信指令業務の共同運用を行うことが確認された旨の報告がされた。さらに消防本部については、通信指令業務の共同運用に係るスペースの確保も含め、新庁舎に集約する方向との報告もあった。早急な検討が求められる中、中央消防署の対応とあわせ、消防本部の取り扱いの方向性を伺う。

答

3市での共同運用を進め、通信指令室を含む消防本部の集約とあわせ、中央消防署の建て替えも検討する。



自由民主党山口
泉 裕樹

いずみ ひろき



都市 山口県ナンバーワンのビジネス街づくり



建設中の新山口駅北地区拠点施設 (12月)

問 山口県ナンバーワンのビジネス街づくりに向け、拠点施設を中心に、県や関連企業を初め市の関係部局とどのように連携し取り組むのか、その将来展望を伺う。

答

拠点施設整備後を見据え、駅周辺の面的整備の促進、産業支援・人材育成を通じた地域経済の活性化、交流人口や関係人口の創出の3つの視点から新年度の予算編成作業を進めている。指定管理者、国や県の行政機関、関係団体、企業等との連携体制をしっかりと構築し、情報共有を図りながら進めていきたい。

●その他の質問

○第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略



県都創生山口
中島 裕一

なかしま ゆういち



行政 入札の不正防止にも寄与する電子入札制度

問 電子入札導入に向けた市の考えを伺う。

答 電子入札については全国約750の市区町村で導入が進んでおり、本市としても効果的な公共サービス提供を可能とする取り組みの一つとしてシステムの導入を掲げている。令和2年度にシステムの構築、その後実証実験・業者説明会を行い、令和3年4月の本格導入を目指している。また、令和4年度に建設コンサルタント業務等での導入を進め、将来的には物品購入や業務委託の一部についても調査研究を行い、システムの拡充に取り組みたい。電子入札により事務手続の適正化、入札参加機会の拡大、談合等による不正防止にも寄与すると期待されており、スピード感をもつてスマートフォン自治体への転換を図っていききたい。



公明党
山本 敏昭

やまもと としあき

環境 ペットの適正飼養について

問 多頭飼育崩壊が問題となる中、猫の適正飼養について伺う。

答 猫の適正な飼養頭数は、飼い主が適切な飼養環境と終生飼養を確保し、周辺の生活環境の保全に支障を生じないよう管理できる範囲内とされている。適正飼養の指導の状況については、ガイドラインを策定し、飼い主が管理できる飼育環境や頭数の範囲内において、猫の適正な飼養と飼い主のいない猫に接するルール等を提示している。猫に関する苦情は、野良猫への無責任な餌やりや外飼いの猫が他人の敷地をふん尿で汚すなど、野良猫との接し方や飼い主のモラルやマナーに起因するものが多く、啓発チラシの回覧や戸別訪問による面談等を実施し、適正な飼養に努めるようお願いしている。



高志会
伊藤 斉

いとう ひとし

行政 山口市自殺対策計画(案)を全庁的な取り組みに

問 策定される計画は、国がつくれというからではなく、市役所全体で取り組む意識を持つてこそ実効性のある計画になるか。また、前の議会で生活再建型の徴収業務を提案したが、計画案に重点施策として設定されている生活困窮者支援の取り組みについて伺う。

答 本市の自殺者数は、平成22年をピークに減少傾向にあるが、依然として自殺に追い込まれる状況がある。本計画では、自殺対策推進本部の設置により関係部局の連携を図り、職員の共通認識のものと関係機関等とも連携し、総合的に取り組む。また生活困窮者への支援は、抱えている問題に対し、生活や就労に関する支援、消費生活や納税に関する相談など、きめ細やかに対応するよう取り組む。

※自殺対策計画
平成28年に自殺対策基本法が改正され、全ての自治体が計画を策定されることとされ、山口市では、令和2年3月を目途に策定が進められている。

日本共産党
大田たける

おおた たける

行政 阿東町との合併の評価と今後のまちづくり

問 令和2年1月で10年を迎える阿東町との合併の評価と、阿東地域における今後のまちづくりについて伺う。

答 阿東の魅力が本市全体の魅力につながっていると認識している。また、阿東の地域づくりの柱は、人口減少対策と高齢社会への対応であり、過疎債等の有利な財源を活用し積極的な地域づくりの取り組みができた評価している。今後とも、第二次山口市総合計画や前期基本計画に加え、今年度中に策定する第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、各種取り組みを展開していく。



- その他の質問
- 会計年度任用職員制度
- スマート自治体の推進
- ICT教育の推進

市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお

都市 山口市にシネコン（複合型映画館）誘致を！

○市職員の働き方改革
施設整備

○多世代交流・健康増進拠点

●その他の質問

なから研究していきたい。

ランにお
スターマ
づくりマ
郡都市核
山口・小
策定中の



る。現在
は高いもの
と認識してい

問 山口市から映画館がなく
なつて丸9年以上たつた。
県庁所在地で映画館がないの
は奈良市と山口市だけと言わ
れている。市民アンケートか
らも若者の映画館誘致の期待
は大きいものと認識している。
若者定住促進等の観点から、
他市の事例でもあるような奨
励金制度の創設等も含め、市
も積極的に誘致促進すべきと
考えるがいかがか。



チームみらい共創
宮川 英之
みやかわ ひでゆき



福祉 中高年のひきこもり対策について

取り組んでいきたい。

児童、生活困窮など、あらゆる相談に対応する新たな包括的支援体制の構築に向けた検討を進める中で、ひきこもり状態の方への支援についても

困窮など、生活に行き詰まるリスク等を抱える問題と認識している。把握している12人のひきこもり状態の方の半数が中高年と確認しているが、市全体の把握ができていないと言えない状況である。生活困窮状態の方や、複合的な課題を有する世帯も含め、本人の状況に応じた支援が重要であり、高齢、介護、障がい、児童、生活困窮など、あらゆる相談に対応する新たな包括的支援体制の構築に向けた検討を進める中で、ひきこもり状態の方への支援についても



問 8050問題への認識と、
長期化する中高年のひき
こもり者の把握状況及び今後
の支援策について伺う。

答 親子共
倒れと
なるリス
クや、親
亡き後、子
の社会的
孤立によ
る経済的
困窮など、
生活に行
き詰まる
リスク等を
抱える問
題と認識
している。
把握して
いる12人
のひきこ
もり状態
の方の半
数が中高
年と確認
している
が、市全
体の把握
ができて
いないと
言えない
状況であ
る。生活
困窮状態
の方や、
複合的な
課題を有
する世帯
も含め、
本人の状
況に応じ
た支援が
重要であ
り、高齢
、介護、
障がい、
児童、生
活困窮な
ど、あら
ゆる相談
に対応す
る新たな
包括的支
援体制の
構築に向
けた検討
を進める
中で、ひ
きこもり
状態の方
への支援
についても



県都創生山口
山本 貴広
やまもと たかひろ



予算 令和2年度予算編成方針について

いる。

のまちづく
りにつな
がると考
えて



問 地域内分権のあり方につ
いて伺う。

答 平成30年度の組織改編で、
総合支所を本庁と同等の部
局と位置づけ、各エリアの
特性に応じた地域振興策へ
の取り組みが可能となる体
制整備を行い、総合支所の
権限強化を図ってきた。今
後、マネジメントに必要な
組織や人員体制の検証、必
要な財源等も検討し、山口
らしい地域内分権を確立し
ていきたい。

問 定住対策について伺う。

答 2つの都市政策に基づく
プロジェクトを積極果敢
に進め、山口・小郡都市核
及び市内21地域の特性と
役割のもと市全体の発展
を目指し、教育・子育て
・産業振興・医療・防
災・交通等各分野の着
実な推進が定住実現の
まちづくりにつながる
と考えている。



高志会
伊藤 青波
いとう しょうは



教育 山口市の次代を担う子供たちを育てる

の学力を育んでいきたい。

の醸成を実感できた。
全ては子供たちのために
という思いを基本姿勢とし、
まち全体で教育・子育て
なら山口の取り組みを積み
重ねながら、子供たちの
生きる力や本物の学力を
育んでいきたい。

へにより、
次代を担
う子供た
ちがしっ
かりと学
んでいけ
る学校教育
環境の整備
や学校・家
庭・地域が
互いに手を
携えながら
一体となつ
て子供たち
を支えてい
くという機
運の醸成を
実感できた。
全ては子供
たちのため
にという思
いを基本姿
勢とし、ま
ち全体で教
育・子育て
なら山口の
取り組みを
積み重ねな
がら、子供
たちの生き
る力や本物
の学力を育
んでいきた
い。



問 藤本教育長が就任されて
2年間の教育行政の成果
と今後の展望について伺う。

答 現在の教育環境は変革の
ときを迎えており、特に
子供たちの生きる力を育む
ため、多様な人々のかかわ
りの中で教育活動を充実
させることが必要である。
教育長に就任以降、全
ての小中学校、幼稚園
への訪問や、地域行事等
への参加により、次代
を担う子供たちがしっ
かりと学んでいける
学校教育環境の整備や
学校・家庭・地域が互
いに手を携えながら一
体となつて子供たち
を支えていくという機
運の醸成を実感でき
た。全ては子供たちの
ためにという思いを
基本姿勢とし、まち
全体で教育・子育て
なら山口の取り組み
を積み重ねながら、
子供たちの生きる力
や本物の学力を育
んでいきたい。



自由民主党山口
富田 正朗
とみた まさろう



観光 重源の郷について



徳地のシンボル『重源の郷』

問 昨年度策定された徳地域ふるさとにぎわい計画においても中核施設と位置づけられており、来年度には本市で東大寺サミットが開催される。令和3年には重源上人生誕900年祭も控えているなか、徳地域域のシンボルともいえる重源の郷の今後の運営方針を伺う。

答 開園から20年以上が経過し、施設の老朽化が進み、とりわけカヤぶき屋根は損傷が激しく、今後の大規模な修繕、改修に係る維持管理経費の増加が課題となっている。徳地域域全体の活性化、誘客促進につなげるとともに、ソフト、ハード両面から整備を進めていきたい。



自由民主党山口
田中 勇

たなか いさむ



農業 道の駅「長門峡」について



交流の拠点となる道の駅「長門峡」

問 リニューアル後の状況とさらなる集客に向けた取り組みを伺う。また、小規模農家振興の観点から、道の駅での野菜増産モデル事業を含む今後の取り組みを伺う。

答 4月から10月までの利用者は約29万8千人で昨年の1・86倍、売り上げも約1億8319万円で1・4倍となった。新設したウェブサイトによる情報発信やイベントの開催等によりさらなる集客を図りたい。また、野菜増産モデル事業の展開により、出荷登録者も増加した。今後は、搬入等の手間を軽減できるように集荷拠点を複数設定し、安心して生産・出荷できる仕組みについて検討していく。



日本共産党
西村 芳和

にしむら よしかず



安全 市内各所で消えた中央線や横断歩道等の維持管理

防災

問 大規模災害時の長期間の電源確保を市は、どう整備し体制強化していくのか。

答 新本庁舎等の建てかえ整備の中で、さらなる充実を図り防災対策を強化する。

●その他の質問

- 外国人の受け入れ体制
- 生命と財産を守る河川の整備
- ハザードマップの全戸配布



長期間、中央線が消えている市内の道路

問 市内各所で消えたまま何年間も放置されている中央線などの危険な道路標示に市は、どう対応するのか。

答 公安委員会や国・県と、これまで以上に連携を密にし適切な路面標示の維持管理に努めていく。



自由民主党山口
湊 和久

みなと かずひさ



こども 放課後児童クラブの保育時間の延長を

健康

問 山口市産業交流拠点施設が小さな子供から障がい者まで、誰もが安心して利用できる施設になるよう、熱中症対策の観点からユニバーサルデザインに配慮した冷温水器を設置できないか伺う。

答 利用者サービスの向上・充実や安全安心に配慮した施設運営の観点から、総合的に検討を進めたい。

問 職場を定時に出て迎えに間に合わない保護者のことを勘案して、保育時間の延長を検討できないか伺う。

答 直近のアンケート結果において、保育時間延長のニーズについて把握している。今後は、支援者配置の課題を解決した上で、運営団体と連携し、延長の実施に向けた取り組みを進めていきたい。




公明党
桜森 順一

さくらもり じゅんいち



人権 性的少数者の方々が生きやすい社会

問 5年前に初めて質問した際は、ほとんど知られてなかったが、今では約30自治体が同性同士をパートナーとして認めるパートナーシップ制度を制定し、日本の人口の一割が制度を活用できる状況になった。デンマーク等の同性婚を導入した国では社会に認知されたことで、自己肯定感が上昇し、自死率も46%減少している。命を守るためにもパートナーシップ条例制定を含む施策の方向性を伺う。

答 本市にあった制度のあり方を検討したい。令和2年1月には県内在住のLGBT当事者を講師として職員研修会を開催する。申請書等の性別記載欄も来年度から可能なものは廃止する方向で調整しており、同性同士の市営住宅入居等についても、可能かどうか今後検討していきたい。



車椅子に乗ったままでも利用できる「やさしい冷水器」、例

教育 「熱中症対策」次は「冷水器、が良いですね!!」

問 学校における熱中症対策として、エアコンの次は冷水器を勧めるが、その有効性をどう考えるか伺う。

答 冷水器の有効性は認識しているが、費用面等の課題もあり、どのような対策がふさわしいか検証したい。また、冷水器の技術進歩もあると思うので、情報のアンテナを広げ、検討していきたい。



車椅子に乗ったままでも利用できる「やさしい冷水器」、例

農業 農業を始めてみませんか!!

山口市移住情報ホームページ



農業を始めるには
どうしたら良いですか

問 新規就農者への支援策について伺う。

答 就農前2年間を準備型、就農後5年間を経営開始型として最大年間150万円の資金、営農開始後3年間の家賃の一部、施設及び機械器具の整備経費、農地の賃借料の助成など、新規就農者への各種支援策を展開し、県立農業大学校やJAと連携した栽培技術を身につける体験及び実践研修を実施している。来年度からは多岐に渡る支援制度をわかりやすくまとめた新規就農者支援パッケージ制度を創設する。また、就農支援については、定住対策や空き家対策、子育て支援等と一体的に進めることが効果的と考えており、関係部局と連携しながら情報提供等を行う。

教育 真の先進的な教育とは!?



問 ICT教育や外国語教育など、今後本市が取り組んでいく先進的な教育環境づくりの中、子供の主体性や好奇心を奪わないためにも宿題や定期テストのあり方について市の考えを伺う。

答 本市の多くの学校では自主的な学習を目的として、自らが主体的に学習内容を決めて行つ自主学習ノートを宿題として課すことで、学びへの興味・関心、好奇心を育み、学習意欲の高揚へとつなげている。定期テストについては、児童生徒自身が自らの学習を振り返るとともに教師自らが指導の改善を図るものであり指導と評価の一体化を実現することが重要である。子供たちの学力の定着や頑張りを評価する宿題や定期テストについては今後とも工夫・改善を図りながら実施していきたい。

市民クラブ
部谷 翔大
へや しょうた

公明党
其原 義信
そのはら よしのぶ

山口維新の会
竹中 一郎
たけなか いちろう

市民クラブ
野村雄太
のむら ゆうたろう

予算 令和2年度予算編成方針について

- 問** 新山口駅北地区拠点施設の多目的ホールは2000人収容の県下最大規模である。先般、要望があったが、全国トップクラスの実績を持つ合唱や吹奏楽演奏等ができ、全国大会も誘致可能な本格的な音響反射板を設置することで、稼働率も向上し収益改善となり、市内全域への好循環につながるのではないかと。要望に沿うと費用が約一億円かかり、構造計算の見直し、建築確認申請の再申請等で半年程度の工期延期も必要なことから実施は困難である。
- 答** 人口増加策として、転入者への家屋新築補助金制度を創設してはいかがか。
- 問** 移住定住促進の効果があると考え、公平性や空き家対策との整合性等の課題も含めて総合的に検討する。
- 市長への音響反射板設置の要望**
昨年10月末、県高等学校文化連盟、中学校文化連盟、音楽教育連盟、山口芸術短期大学の代表を賛同者とする要望書が出された。



高志会
氏永 東光

うじなが どうこう



行政 ※ 山口県央連携都市圏域における事業展開は

- 問** 主な取り組みと成果、来年度の展開について伺う。
- 答** 中小企業の事業継支援を行う商工会議所、商工会の連携が進んだことで支援体制が強化された。また、本市と宇部市の市境に位置する産業団地内での通勤バスの試験運行等を行っている。来年度は、企業の人材確保や若者の移住定住を促進する中小企業魅力体感フェアの開催を検討している。
- 問** 山口ゆめ回廊博覧会開催に向けた取り組みは。
- 答** 外国人観光客をおもてなしするインバウンド対応として地域通訳案内士（英・中国・韓国・スペイン語）を養成している。今後は「7つの市町でつなぐ、7色の回廊」のコンセプトによるアート事業や歴史資源等を活かしたプレイイベントを開催していく。
- ※山口県央連携都市圏域
愛称は「山口ゆめ回廊」。平成29年に山口市、宇部市、萩市、防府市、美祿市、山陽小野田市、島根県津和野町の7市町で形成された。



自由民主党山口
馬越 帝介

まごし たいすけ



医療 小郡第一総合病院のベッドを減らすな



小郡第一総合病院

- 問** 厚労省は「地域医療構想の実現」で小郡第一総合病院を再編統合の対象とした。第一病院は市南部の中核的病院として救急車受入れ台数は年間870台、病床回転率は94%であり病床が減ると、これまでのように救急車の受け入れはできない。市民の命にかかわるがどう考えるか。
- 答** 病院名の公表は必要病床数の再検証のためであり削減・機能分化等を機械的に決めるものではないと説明を受けている。今後示される検証方法の情報等、国・県の動向を注視しつつ、救急医療体制の一翼を担う第一病院の機能と必要病床数は確保されるよう意見を述べていきたい。



日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ



ごみ 極小ごみ袋を導入し、ごみ出し困難者支援を！

- 問** 山口市の指定ごみ袋は、全国的には、より小さい極小のごみ袋を導入し、お年寄りやひとり暮らしの方のニーズに添えている自治体もある。現在、無料あるいは有料で小売店等が出されているレジ袋を市の指定ごみ袋の極小で替えることはできないか。
- 答** 高齢者世帯や単身者世帯の増加などに伴い、極小のごみ袋に対するニーズが高まることもあることから、製造原価との整合性を図りつつ、慎重に検討していく。
- 市はレジ袋の削減とマイバッグの使用を促進しているが、将来、レジ袋に関する取り組みも大きく変わっていくと考えており、プラスチックごみ削減の観点から、まずは先進自治体や民間事業者等から情報収集を行ってきたい。




公明党
村上 満典

むらかみ みつり



教育 教育・子育てなら山口の実現に向けて!!



多様な学習機会の一コマ。新山口ゆめフェスタでの職業体験

問 幼・小・中における運動について伺う。

答 地域協育ネット協議会で目指す子ども像を幼保小中学校で共有し、園、学校、家庭、地域が一体となった子どもたちの育ちを支えるプログラムを作成を進めている。今後も幼児期からの連続した子どもたちの学びと育ちを支える教育を展開し子どもたちの生きる力を育んでいきたい。

問 インクルーシブ教育システムの構築について伺う。

答 本市独自の特別支援教育推進サポート事業により就学前の状況を把握しながら相談を行い小学校へつなげている。また、通級指導教室の増員増設を県に強く要望する。



チームみらい共創
中野 光昭



協働 南部地域活力アップ振興プランの実行は

問 プランの進捗状況、成果について伺う。

答 アウトドアスポーツの振興や特産品開発、空き家バンク制度による移住定住促進など多くの事業を行い交流人口の拡大に寄与している。プランの成果が着実に表れていると評価しており、9月末時点で約6割の進捗状況で、順調に進んでいる。

問 関係部局との連携について伺う。

答 地域生活部が中心となつて部局横断的に推進している。また、地域づくり協議会を初め地域の組織や団体等との連携も不可欠であり、地域で実施された事業では、商工会や青年会議所、企業、学生、道の駅、地域おこし協力隊員等、多くの人の連携によって、これまでにない新しい取り組みが行われている。



県都創生山口
野島 義正



選挙 若い世代の低い投票率について!

問 若者の投票率が低い原因について伺う。

答 実際に住んでいる市町村に住民票を移していないことで、投票手続が煩雑になることが投票に行きにくくなっている原因の一つであることは事実であると認識している。

問 市外出身の若者に住民票の異動を促す施策に注力すべきと考えるが市の考えは。

答 市内の大学において入学時期に周知チラシを配布しており、今後は市報や市ウエブサイトでも周知を図る。また、住民異動届出の際に窓口での手続の負担を軽減するためのシステムの導入経費を補正予算議案として提案している。住民票を異動していたながら、投票率の向上につなげていきたい。



継続力の会
植野 伸一



産業 企業誘致 鋳銭司第二団地整備事業の進捗

問 整備事業の現在の状況と今後の見通しは。

答 事業パートナーと基本協定を結び、整備箇所と整備内容を決定した。総分譲面積が約13ヘクタール、事業費約40億円の見込みであり令和4年度早期に分譲開始したい。

問 企業誘致にとってNTT西日本の光回線提供は必要と考えるが今後の見通しは。

答 本市とNTT西日本で議論を重ね合理的な方法で利用できる環境を整えたい。

問 渋滞する国道2号の4車線化への見通しは。

答 国土交通省に早期事業化の検討の要望を行っており、交通状況や地域の課題、必要性の整理状況を踏まえての検討になるとの回答であった。さらなる調査検討を行い、関係企業とも連携して要望活動の強化を図りたい。

※鋳銭司第二団地整備事業

新たな企業進出の受け皿として鋳銭司南地区の山林に、企業への訴求力と利便性の高い産業団地を整備する。



県都創生山口
野村 幹男





11/13~15 教育民生委員会

○大分県別府市 【太陽の家について】

障がい者雇用の推進に先進的に取り組まれており、その理念や取り組み姿勢は、これまでの認識を新たにさせられるものでした。本市における障がい者就労支援、そして合理的配慮を通じた共生社会の実現に向けた環境づくりに生かしていきます。



○佐賀県唐津市 【母子手帳アプリの導入について】

市民の利便性向上だけでなく、市職員の業務負担軽減の面においても有効な取り組みであり、子育て支援におけるICT技術の活用について非常に参考となる内容でした。

○福岡県太宰府市 【教員の負担軽減の取り組み】

小学校水泳授業の一部民間委託に取り組まれており、教員の負担軽減だけでなく、専門指導者による指導内容の充実や、学校プールに係るコスト削減など、様々な面で効果が感じられる取り組みでした。

11/6~7 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会

○茨城県日立市

庁舎敷地内の「市民憩いの広場」が大いに活用され、また市の花「さくら」にちなんだ配色や建設材料が取り入れられていることなど、市民や地域に密着した庁舎であることが強く感じられました。

○東京都立川市

市民意見、市民目線、市民感覚を取り入れ透明性を大事にした建設手法は、市民のための庁舎をつくる上で大変意義深く、本市においても参考にしたい事例でした。竣工から年数が経過している立川市ならではの指摘や課題を率直に伺うことができました。

令和元年台風19号 義援金

山口市議会では、被災された皆様の支援及び被災地の復旧・復興に役立てていただくため、全国市議会議長会を通じて、義援金として34万円を寄付しました。

山口市議会議員一同、被災地の日も早い復興を祈念しております。

10/29~31 議会運営委員会

○滋賀県大津市 【議会BCP】

災害時における議会機能の維持や執行部との関係の整理など、本市の災害時の議会としての対応を検討する上で非常に参考となる内容でした。

○静岡県掛川市 【議会改革と議会活性化】

議会報告会での市民意見を全議員での政策討論を踏まえて市長に提言し、予算や施策への反映を目指す一連の流れとされているほか、令和元年6月定例会からは手話通訳者を議場に常駐配置されるなど、本市の議会改革を進めていく上での参考となる事例でした。

○広島県呉市 【災害発生時の議会の対応及び議会図書室】

対応要領に基づく豪雨災害への対応や、調査相談機能の強化に向けた議会図書室への司書の配置などを今後の本市の取り組みに生かしていきます。



11/12~14 経済建設委員会

○【チームラボプラネッツTOKYO】

国や年代を問わず求められ続けるデジタルアート展示を体感し、アートによるまちづくりやインバウンド観光対策、山口情報芸術センター(YCAM)の今後の展開について一考する機会となりました。

○新潟県新潟市 【国家戦略特区における12次産業化の取り組みについて】

市の最大の強みであり市民の誇りでもある田園資源を、生活に密着する6分野（「子育て」「教育」「福祉」「保健・医療」「エネルギー・環境」「交流」）をはじめさまざまな分野に活かす先進的な取り組みでした。

○京都府京都市 【先斗町における無電柱化の取り組みについて】

防災面、観光面から住民、事業者、市が一体となって無電柱化を進める推進体制の重要性について確認しました。



議会の主な動き



10月

- 21日 会派代表者会議
- 25日 市議会だより等編集委員会
- 29日 議会運営委員会行政視察(～31日)

11月

- 5日 山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会行政視察(～7日)
- 11日 会派代表者会議、市議会だより等編集委員会、山口市議会議会改革検討協議会
- 12日 経済建設常任委員会行政視察(～14日)
- 13日 教育民生常任委員会行政視察(～15日)
- 25日 議会運営委員会、タブレット端末導入推進プロジェクトチーム会議、執行部説明会、山口市議会議会改革検討協議会
- 29日 山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会

12月

- 2日 市議会だより等編集委員会
- 5日 山口市議会議会改革検討協議会
- 9日 市議会だより等編集委員会
- 12日 広報広聴委員会
- 19日 会派代表者会議、山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会、山口市議会議会改革検討協議会
- 23日 山口市議会議会改革検討協議会、市議会だより等編集委員会

おいでまや山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

□受け入れ団体(10月～12月:18団体128名)

- 10月16日 青森県弘前市議会、岐阜県大垣市議会
- 23日 山口県周南市議会
- 24日 東京都多摩市議会、三重県鈴鹿市議会
- 30日 千葉県印西市議会、大阪府池田市議会
- 31日 香川県坂出市議会
- 11月6日 奈良県大和郡山市議会
- 7日 鳥取県米子市議会
- 13日 茨城県鹿嶋市議会、神奈川県秦野市議会
- 14日 京都府向日市議会、沖縄県うるま市議会
- 18日 富山県砺波市議会、山梨県笛吹市議会
- 20日 長崎県長崎市議会
- 12月12日 東京都文京区議会

行政視察を通じ、本市の魅力をPRしてまいります。

【表紙写真】

令和2年山口市消防出初式。勇壮な纏い隊は各消防団の精鋭です。

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

- 2月17日(月) 本会議(初日)
[午前10時/市議会議場]
- 2月25～28日(火～金) 本会議(一般質問・質疑)
[午前10時/市議会議場]
- 2月28日(金) 予算決算委員会
[本会議終了後/第2委員会室]
- 3月3、4日(火、水) 教育民生委員会
[午前10時/第1委員会室]
生活環境委員会
[午前10時/第2委員会室]
- 3月5、6日(木、金) 総務委員会
[午前10時/第1委員会室]
経済建設委員会
[午前10時/第2委員会室]
- 3月10日(火) 予算決算委員会
[午前10時/第2委員会室]
- 3月13日(金) 本会議(最終日)
[午前10時/市議会議場]

議会の内容をウェブでご覧いただけます

●山口市議会ホームページ
<http://www.yamaguchi-gikai.jp>



●インターネット録画中継
<http://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

編集後記

来年度予算も展望する12月定例会をお伝えします。
いよいよ今年は東京五輪開催。市政と同様、どんなドラマが展開されるか、ワクワクしています。(中島)

市議会だより等編集委員会

委員長 中野光昭 副委員長 倉重 浩
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏朗・伊藤 育・大田たける
野村雄太郎・植野伸一

次号は5月1日です